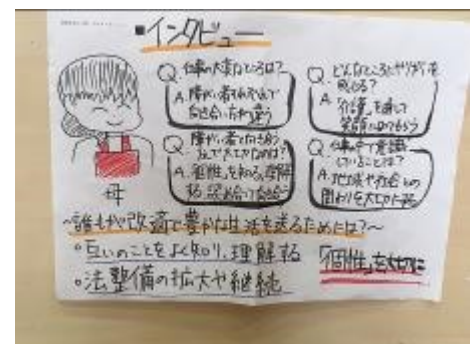
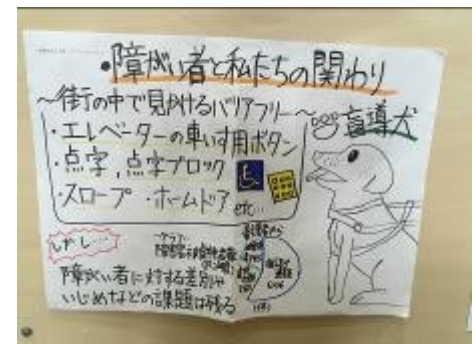
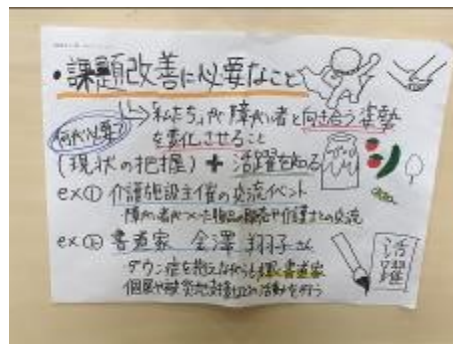


1年次 産業社会と人間

## 課題探究発表会

### 3年ぶりに年次全員でポスター発表会を行いました

2月7日、1年次の「産業社会と人間」の時間に、各自が取り組んできた課題のポスター発表会が行われました。体育館で全員が集まって行う形式は3年ぶりになります。生徒は探究してきた内容を一人6枚のポスターにまとめ、1回あたり4分で発表を行いました。初めて発表内容を聞く人に対して、自分の探究成果を6枚の紙にまとめ、説明を4分で収めるのは大変です。過不足なく必要な情報を精選するためには、自分自身が探究した内容をきちんと自分の中で整理できていなければならないからです。また、4分という限られた時間で内容を理解してもらうには話し方にも工夫が必要です。そんな生徒にとっては難関の探究発表会ですが、時には問いかけや笑いを交えながら堂々と発表する1年次生の姿が見られました。1年を通しささまざまな場面で発表する機会から学んだ成果が出たようです。1年間学んだことを2年次以降の探究の時間にも活かしていってほしいものです。



1年次 産業社会と人間

## 職業人インタビュー発表会

### 「社会を知る」～「職業」を知る～

1年次の「産業社会と人間」の時間では、10月より準備を進め11月初旬に45の企業・団体にご協力いただき「職業人インタビュー」を実施しました。「産業社会と人間」は、「自分を知る」「他人を認める」「社会を知る」ことを柱に自らの生き方について考えていく科目です。「職業人インタビュー」では実際に働いている方々からお話を伺うことで、それぞれの職業について理解するとともに、働くことの厳しさややりがいを学んだり、活動を通してビジネスマナーを身に付けたりします。11月29日はグループでまとめた模造紙を使って各グループ3回の発表を行い、発表時以外は他グループの発表を聞きました。夏休み明けのオープンキャンパス発表会では少しぎこちないところもありましたが、今回は堂々とした発表態度で自分たちの学習の成果を発表しており、1年次の成長を感じさせました。今回の「職業人インタビュー」の一連の活動から、職業選択だけでなく、生徒一人ひとりが自分らしく幸せに生きていくためのヒントを得られた様子がうかがえました。





1年次 産業社会と人間

## 相手も自分も大切にするコミュニケーション

変でいい 違っていい そのまま輝いていい

10月18日の1年次の「産業社会と人間」では、今年度も一般社団法人JCMA代表理事の吉井奈々さんをお迎えし、「相手も自分も大切にするコミュニケーション」と題して講演をしていただきました。元男性でありながら、女性として結婚し、現在はコミュニケーション講師として多岐にわたって活躍されている吉井さん。時々笑いを入れながら、エネルギッシュに、吉井さん自身の体験を踏まえて生徒に寄り添ったたくさんの生きるヒントをくださいました。

人付き合いに苦手意識があったり、いつも不安で疲れていたり、自分を大切にすることがよくわからなかったり、そんな心のひっかかりを抱える私たちに寄り添う名言が今回もたくさんありました。曰く「みんなと仲良くできなくてもいい」「好きを大切に、ちゃんと嫌われてちゃんと好かれる」「社会・学校は電車の中だと思ってい」「やりたくないことをやめてみる やりたいことをやってみる」「自分の好きを大切にしている人に会いに行く」「人と違うことが魅力・才能」「誰かのためではなく自分のために自分で選ぶ」。現状が変わらないことを憂うだけでなく、自分の見方や捉え方を少し変えることで、生きやすく、幸せになる。講演の冒頭で吉井さんが話されていましたが、今日の講演を機に少し見方を変えることで、生徒一人ひとりが「自分が主人公となる生き方」ができるようにと願っています。そして自分が自分らしく輝くために、時には自分の心に「大丈夫」と声をかけてトリートメントすることも大切にしてほしいと思います。

吉井さん どうもありがとうございました。



←エネルギッシュに身振り手振りを交えて講演される吉井さん

↓最後は皆で両手をパーにして記念撮影



←生徒の退場時に吉井さんが声をかけてくれました

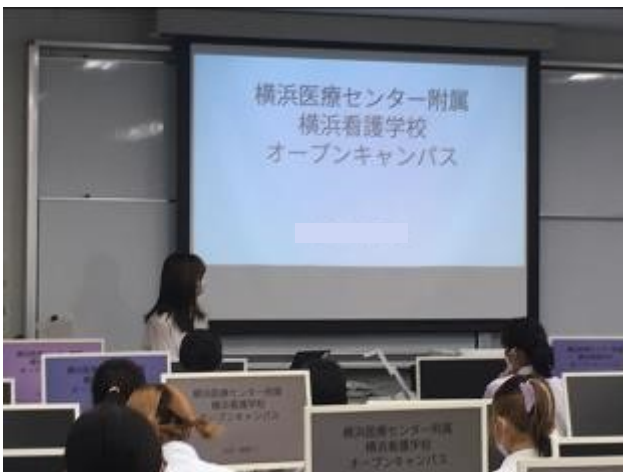
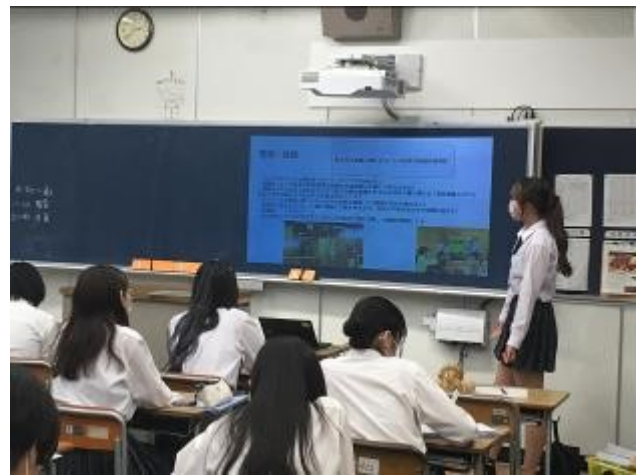


1年次 産業社会と人間

## オープンキャンパス報告会

### 沢山の学校について知ることができました

9月6日の1年次の「産業社会と人間」の時間では、夏休みに各自で出向いたオープンキャンパスの報告会を行いました。発表資料を作る過程で、自分が行った学校のよさを改めて振り返ることができ、時間内でいかにわかりやすく人に伝えるかというプレゼンテーションの練習にもなりました。クラスを2分割して発表を行ったので、1人最大20の学校を知ることができました。1年次にとって高校卒業後の進路は先のように感じますが、こうした機会を通じ自分の進路を考える良いきっかけにしてもらいたいものです。



オープンキャンパス報告会 記録用紙		
発表順	学校名	内容(学部)
例	みなと総合大学	人文学部・比較文化と都市の発達
1		
2		
3		
4		
5		
6		

記録用紙

発表を聞くだけでなく聞いた内容をまとめます。

1年次 産業社会と人間

## 主権者教育 模擬校長選挙

主権者として思考・判断する力をつけよう！

7月12日の1年次の「産業社会と人間」の時間では、主権者教育の一環として「模擬校長選挙」と題して立会演説会と投票を行いました。教員が扮した3人の候補者は、マニフェストを発表し、生徒はマニフェストで示された論点を整理することを通して、情報を整理・比較し、主権者として思考・判断・選択する体験をしました。「有権者」である生徒からは演説後に「財源は大丈夫なのか？」「自由すぎて進学実績が悪くなると中学生には魅力的な学校にはならないのではないのか？」などさまざまな質問が活発に出されました。発言する生徒だけでなく、誰もが人前で発言しやすい雰囲気を作っている生徒達の素晴らしさを感じました。最後は、区役所からお借りした本物の記載台と投票箱を使用し、主権者としての意識を高めて終了しました。



区役所から本物の投票箱をお借りしました。





1年次 産業社会と人間

## ファンケル神奈川SDGs講座の開催

### プラスチックに関する課題と企業の取組について学びました

1年次の「産業社会と人間」の時間に学校のすぐ近くに本社を構える株式会社ファンケルの皆様にお越しいただき、ファンケル神奈川SDGs講座を開催していただきました。前半は「正義感を持って世の中の「不」を解消しよう」という創業理念に基づき環境や世の中の課題に配慮したものづくりをしてきたファンケルの事業の他、世界の課題、SDGsにおいて企業に期待されていることを共有しました。後半は、プラスチックの課題に焦点を当て、グループワークをしながら課題と削減に向けて取り組めることを4R(Reduce, Reuse, Recycle, Renewable)を中心に生徒自身が考えていきました。講師の方の話にどんどん引き込まれ、ただ話をきくだけでなく、自分たちで考え、積極的に発言している生徒の姿が印象的でした。

講師の方には、ご自身の学生時代の思いや仕事に向き合う姿勢の他、高校時代に「生きる軸を見つけよう」「自分で選ぶ経験値を積もう」というメッセージもいただき、生徒の刺激になりました。今後の高校生活や自分探し、進路実現に活かしていってほしいものです。



←積極的に発言する生徒が多かったです。



←講演後にはファンケルの人気商品までいただきました。

テレビ神奈川の取材もありました。

